

## 平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）事業報告

一般社団法人に移行して第 3 年度に当る平成 28 年度は、日本・ボリビア両国間の交流を通じて、両国間の相互理解と友好親善協力との関係をより一層発展・進化させることを目指し、公益目的財産（期首 1,271 千円＝一般社団法人移行初年度継承資産・2,481 千円―前々 26 年度消化（474 千円）―前 27 年度消化（736 千円））の積極的活用を図りつつ、下記の事業を展開・推進した。

### 1. 当協会主催事業

(1) 毎年恒例となった X'Mas イベントを 12 月 1 日に開催。当協会会員・日本ラテンアメリカ文化交流協会の三村秀次郎氏による「ラテンアメリカ音楽あれこれ」と題する講演会、引き続き同氏のグループ・ロス・エルマーノスによるフォルクローレ演奏と参加者間の懇談・交流を行った。

(2) 初めての試みとして、2017 年 2 月 18 日に、在日ボリビア日系人の玉城俊幸氏ご夫妻の協力を得て「ボリビア料理の集い」を開催した。

両方のイベントを併せて約 90 名の参加者があり、どちらも好評を博した。

### 2. 共催、協賛・後援事業

(1) Bolivia Festival 2016: 8 月 1 3 日、在日ボリビア人グループが東京・芝公園で開催。当協会は後援するとともに出店し当協会会長が来賓として開会式で挨拶。

(2) Fiesta2016: 上記とは別の在日ボリビア人グループが 9 月 24 日に東京・市ヶ谷・JICA 研修所で開催し、当協会は後援するとともに出店。参加した多くの在日ボリビア人や、ボリビアに関心を持ち参加した日本人多数と交歓した。

(3) 4 月、アストライアグループ主催のボリビアダンスフェスティバルを後援し、役員が来賓として出席した。

(4) 協会会員で登山愛好者のボリビア・ワイナポトシ登頂報告会。会長・専務理事出席 (6 月)

(5) 神奈川大学主催・ボリビアの夕べ。会長・専務・常務理事出席 (11 月) (本件担当教員が後日当協会に入会)

(6) 2017 年 7 月～9 月、島根県教育庁主催で開催予定の「石見銀山世界遺産登録 10 周年記念展」事業について、現地視察等のための情報提供等の協力を行うとともに名義後援を行うことを決定。

### 3. 会報 Cantuta 発行

26 号 (8 月)、27 号 (10 月)、28 号 (2017 年 2 月) と三回発行し、全会員に送付。いずれも HP に掲載手続き中。学者、医師、写真家、海外青年協力隊員、留学生、大使館員、JICA 職員等執筆者は多様にわたり、いずれも好評が寄せられている。

4. 外部からの照会等の処理。主要案件は次の通り。(いずれも杉浦専務理事が対応)
- \* 神戸市の日本ボリビア技術協力会でのボリビア概況講演 (4月)、
  - \* 名古屋・名港管理組合会報「名港」へボリビア紹介を寄稿 (5月)、
  - \* さいたま新都心・中古車中古の車両・医療機材輸出会社・(株)TAUへ債権回収、ボリビアの病院を紹介 (7月、11月)、
  - \* 東京医療コンサルティング社へボリビア病院情報提供 (12月)
  - \* 東京のばーちゃねっと社へ東京オリンピック向けミニチュア制作用情報提供 (2月)
  - \* フジTVへUNISEF協力による「子供の労働」番組現地取材へ通訳など紹介 (2月)、
  - \* ケンコーマヨネーズ(株)へキヌアのイベントとキヌア仕入れ先として会員の(株)有馬を紹介 (6月)、
  - \* NECへボリビア・タリハ市ITプラットフォームプロジェクト関係情報提供 (6月)、
  - \* JOCV・ボリビア派遣隊員へ情報提供 (6月)、
  - \* アルパカ衣料輸入に関心ある日本の企業からの照会に対し現地企業(日系人)に取次ぎ (9~10月)、
  - \* ドイツからのキヌア加工品輸入拡販相談支援 (11月)、
  - \* マスコミ・出版社・その他団体からの照会に対しボリビアの関連写真を提供 (3件)
5. 協会活動に関連し、協会として、または会員が参加した主な催し物
- \* 地球の日記念イベントの上智大学イベロアメリカ研究セミナー (6月16日)
  - \* 駐日ボリビア多民族国大使館主催の独立記念日記念の音楽イベント (8月3日)、
  - \* ラテンアメリカ夫人協会主催チャリティバザール (10月)、
  - \* 米州開発銀行主催・ラテンアメリカフォーラム (11月)、
  - \* 第6回ワールドウチナアンチュ大会 (10月26-30日、沖縄県那覇市)
  - \* 海外日系人協会主催の海外日系人大会 (10月24日)
  - \* 駐日ボリビア大使館主催の「海の日 (Dia de Mar) (3月23日)

以上

## 一般社団法人 日本・ポリビア協会

## 貸借対照表

平成28年4月1日—29年3月31日

<b>資産の部</b>		
現金		18,024
預金		2,493,184
<b>資産合計</b>		
<b>負債の部</b>		
未払金		0
<b>負債合計</b>		
0		
<b>正味財産の部</b>		
正味財産		2,511,208
(内当期正味財産増減)		-252,071
<b>負債及び正味財産合計</b>		2,511,208

## 一般社団法人 日本ポリビア協会 財産目録 (平成29年3月31日)

## 資産の部

現金		18,024
預金		2,493,184
三菱東京UFJ銀行	2,036,149	
ゆうちょ銀行	457,035	
<b>資産合計</b>		2,511,208

## 負債の部

未払金		0
<b>負債合計</b>		0
<b>正味財産</b>		2,511,208

## 一般社団法人 日本ポリビア協会 財産増減計算書

区分	期首残高	期末残高	増減
現金	45,224	18,024	△ 27,200
預金 三菱東京UFJ銀行	1,871,622	2,036,149	164,527
ゆうちょ銀行	846,433	457,035	△ 389,398
預金小計	2,718,055	2,493,184	△ 224,871
合計	2,763,279	2,511,208	△ 252,071

## 第1号議案資料(2)

一般社団法人 日本ポリビア協会  
収入の部

## 平成28年度(2016)収支計算書

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増減額	決算額についての備考
会費収入	800,000	826,000	26,000	
個人会員	200,000	248,000	48,000	63個人会員
維持会員	600,000	578,000	-22,000	8維持会員
交流参加費	200,000	285,000	85,000	
雑収入	500	10,111	9,611	寄付、預金・貯金利息
収入合計	1,000,500	1,121,111	120,611	
前期繰越金	2,763,279	2,763,279	0	
収入の部合計	3,763,779	3,884,390	120,611	

## 支出の部

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増減額	決算額についての備考
1. 管理費				
事務経費	150,000	57,248	-92,752	
通信運搬費	50,000	15,478	-34,522	
交通費	50,000	0	-50,000	
消耗品費	40,000	0	-40,000	
雑費	10,000	41,770	31,770	
管理費合計	150,000	57,248	-92,752	
2. 事業費				
旅費交通費	80,000	116,010	36,010	
通信運搬費	50,000	18,934	-31,066	
消耗品費	70,000	34,868	-35,132	
ホームページ維持管理費	100,000	28,608	-71,392	
支払負担金	70,000	90,000	20,000	
交流会議費	600,000	730,149	130,149	
カントウタ等発行費	100,000	283,119	183,119	
雑費	10,000	14,246	4,246	
事業費合計	1,080,000	1,315,934	235,934	
3. 予備費				
予備費	0	0	0	
4. 支援事業費				
援助費	0	0	0	
		0		
支出合計	1,230,000	1,373,182	143,182	
次期繰越金	2,533,779	2,511,208	-22,571	
支出の部合計	3,763,779	3,884,390	120,611	

平成28年度監査報告

一般社団法人日本ポリビア協会

会長 白川 光徳殿

私たち監事は、当協会の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における理事の職務執行について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律99条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

上記の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行ない、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等に付いて監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます

平成29年4月26日

監事

永井 和 

監事

千坂 中道 

## 平成 29 年度事業計画 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

### I 基本方針

本年は一般社団法人移行期最後の年として、公益目的事業を着実に実施して繰越金を消化し、新法人への移行を完成させ、併せて会員の入会促進活動を継続する。

前年度に引続き、本年も会員各位や関係先からの協力も得つつ、日本とボリビア両国間の交流を促進し、相互理解と友好親善協力の関係をより一層発展・進化させることを目指して、役員全員で努力を積み重ねて行く。

前 2016 年度末の会員総数は、88 名（個人会員 81 名、法人維持会員 7 名）と前年度末比較で 8 名増となった。（個人会員 9 名増、法人維持会員 1 名減）、これを受けて、本年度は積年の念願である 100 名の大台達成を目標とする。

本年度は、会員加入の「重点対象」として、従来からの日本人の女性・若者・シニア層に加えて、駐日ボリビア大使館とも連携して、在日ボリビア人・日系ボリビア人・移住帰国者との日常的繋がりを生みだすキッカケ創りを活発化し、各コミュニティの現状把握を積極的に進めつつ、これら各地の集住地域との交流を深め、会員加入を働き掛けることとする。

上記の基本方針に沿って、自主企画イベントを一層充実させ、併せて、会報やホームページなどのソーシャルメディアも整備し、関係活動を積極的に推進する。

### II 具体的事業活動

#### 1. 自主企画イベントの充実

参加者に「楽しい、面白い、ボリビアへ行ってみたい」と感じて貰えるようなエンターテインメント系イベントとして、従来のボリビア関係「音楽・ダンス・料理・食材」を主とした協会主催イベントとを年 1～2 回開催すると共に、一般市民の方々が「ボリビアの文化・社会をもっと知る」ことができるように、ボリビアを含むアンデス関係の「映画・絵画・小説・詩文・歴史・遺跡・考古学」などの文化ジャンルでのイベントを、ボリビアの関係団体・グループ・個人や、駐日ボリビア大使館の協力も得て、年 1～2 回企画することとする。

また、自主企画イベントと連動したボリビア訪問旅行、文化・スポーツ活動などにつき、維持会員の旅行代理店や関係先ともタイアップして集客に協力する。

#### 2. 会報 Cantuta の充実

本年度は発行回数を前年度の年 3 回から 4 回へ増やすとともに、現地の政治・経済・社会・文化に関するホットなニュースをタイムリーに掲載し、さらにボリビア人・日系ボリビア人によるスペイン語の記事も掲載して紙面内容の充実を図る。

#### 3. ホームページ（HP）などの充実

更新頻度の少なくとも月 1 回へ引き上げを目指し、業者委託部分と協会内部での内部作業部分を明確に区分したうえで、担当役員と事務局の強化を図る。

また、会員・非会員を合わせて外部からのボリビアに関する情報収集のニーズに幅広く応え、同時に協会側からも情報発信をタイムリーに広く効果的に行えるようにする。

#### 4. ボリビア情報の提供体制の整備充実

両国大使館、JICA、JETRO、ラテンアメリカ関係組織・団体<sup>㊟</sup>などと積極的に連携して情報収集、意見交換を行い、内外のボリビア関係者並びに、ボリビアに興味・関心を持つ日本人一般層へのボリビア文化・産品・観光、査証、感染症関係の情報を提供するとともに、日本の地方・中小企業向のボリビア関係情報の提供等、ボリビアへの進出の支援を図る。

日本におけるボリビア理解促進への効果も配慮し日本のマスコミのボリビア関係取材へも引き続き積極的に協力

#### 5. 在日ボリビアコミュニティ間の交流促進への協力

在日ボリビア人・日系ボリビア人、ボリビア移住帰国者、各コミュニティとも積極的に交流を深めるとともに、各コミュニティ間の相互間の交流促進にも協力する。併せて、Chagas 病の感染防止等の活動にもできる範囲で協力する。

<sup>㊟</sup>ラテンアメリカ協会（LAA）、LA関係の駐日大使館・国別組織・団体、外務省、海外日系人協会、JICA、JETRO、JATA、FOODEX、ラテンアメリカ文化交流協会（AMIGO）、イスパニカ、セルバンテス協会、LA関係各種学会、日本キヌア研究会、日本ボリビア医療友好協会、DIFAR、日本ボリビア人協会、ボリビアフェスティバル実行委員会、沖縄ボリヴィア協会、サンファン帰国者の集い など。

#### 6. 日系社会を含む両国の人的交流の促進支援

外務省、ボリビア大使館、在日ボリビア人社会等と緊密な連絡関係を維持し、ボリビアからの政府・民間などの要人、日系人・ボリビア人研修員等の来日に際し、積極的に支援協力する。

以上

## 一般社団法人 日本ポリビア協会

## 平成29年度収支計算書(損益計算ベース) 予算(案)

期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：円)

科 目	平成28年度予 算額	平成28年度 実績	平成29年度 予算額
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
資産運用益	500	111	200
預金受取利息	500	111	200
受取年会費	800,000	826,000	740,000
個人会費	200,000	248,000	200,000
法人会費	600,000	578,000	540,000
雑収入	0	10,000	0
交流参加費	200,000	285,000	200,000
経常収益計	1,000,500	1,121,111	940,200
(2) 経常費用			
事業費	1,080,000	1,315,934	960,000
旅費交通費	80,000	116,010	80,000
通信運搬費	50,000	18,934	30,000
消耗品費	70,000	34,868	40,000
ホームページ維持管理費	100,000	28,608	80,000
支払負担金	70,000	90,000	70,000
交流会議費	600,000	730,149	500,000
カントウタ等発行費	100,000	283,119	150,000
雑費	10,000	14,246	10,000
管理費	150,000	57,248	90,000
通信運搬費	50,000	15,478	30,000
交通費	50,000	0	30,000
消耗品費	40,000	0	20,000
雑費	10,000	41,770	10,000
経常費用	1,230,000	1,373,182	1,050,000
当期経常増減額	-229,500	-252,071	-109,800
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	-229,500	-252,071	-109,800
一般正味財産期首残高	2,763,279	2,763,279	2,511,208
一般正味財産期末残高	2,533,779	2,511,208	2,401,408
<b>II 正味財産期末残高</b>		2,511,208	

	公益支出	公益収入	残高
平成26年3月31日未繰越金の“公的目的活動”による消費期間予測			2,480,870
平成26年公益活動金額と繰越金(1)	656,232	182,000	2,006,638
平成27年公益活動金額と繰越金(2)	944,134	208,500	1,271,004
平成28年公益活動金額と繰越金(3)	1,315,934	285,000	240,070
平成29年公益活動金額：計画(4)	960,000	200,000	-519,930



**(主たる事務所の移転)**

本協会が、定款第 2 条第 1 項に基づき「主たる事務所」を置き、その旨の法人登記をしていた(株)海外移住旅行社様が、昨年平成 28 年 5 月に破産し解散されて法人格を喪失され、下記のかつての同社本社所在地より退去されました。このため、それに代わる主たる事務所の移転先として、当協会の維持会員である(株)ラティーノ様にご検討をお願いしていたところ、此の度ご承諾を頂きました。

これを受けて、定款第 2 条第 1 項の「主たる事務所」を「東京都港区」から「東京都渋谷区」へ変更する件につき、定款第 18 条第 2 項に基づき本日の平成 29 年度定時総会でご承認を頂き、平成 29 年 5 月 29 日に、下記の(株)ラティーノ様本社所在地に「主たる事務所」を移転したのち、同所に当協会の法人登記上の「主たる事務所」を移したく、ご承認をお願い致します。

これまでの主たる事務所所在地 東京都港区西新橋一丁目番 14 番 9 号

移転する新しい主たる事務所所在地 東京都渋谷区恵比寿南一丁目 3 番 6 号

(参考) 当協会・定款第 2 条第 1 項 本協会は、主たる事務所を東京都港区に置く。

以上

平成 28 年度会員入退会状況報告  
(平成 28 年 4 月 1 日—平成 29 年 3 月 31 日)

前年度末 (平成 28 年 3 月 31 日)

個人会員 72 名 維持 (法人) 会員 8 名 合計 80 名

当期入会 個人会員 12 名 注① 維持 (法人) 会員 1 名 注② 合計 13 名

当期退会 個人会員 3 名 注③ 維持 (法人) 会員 2 名 注④ 合計 5 名

純増 9 名 純減 ▲ 1 名 純増 8 名

当年度末 (平成 29 年 3 月 31 日)

個人会員 81 名 維持 (法人) 会員 7 名 合計 88 名

注① 千坂平通、中村芙美子、本間奈生美、三浦左千夫、馬場悠男  
江崎浩司 日高憲三。大川裕司、猪岡愛佳、森井勇介、  
梅崎かおり、瀧本規久子

注② NPO 法人・日本ポリビア技術協力会

注③ 林屋永吉、川浪ときわ、宮廣千代蔵

注④ (株)海外移住旅行社、(学)阪神学園

以上